

平成30年度主催事業「未来につなぐHIKOSAN体験活動」

○ 開催日：平成30年6月16日（土）

○ 会場：福岡県立英彦山青年の家

○ 参加者数：5名

事業のねらい

○ 当施設が夏や秋に行うパワーアップキャンプ・ジュニアキャンプの際に、子ども達の活動を支えるボランティアとして活躍してもらえるようにするため、野外調理やフィールドビンゴなどの自然体験活動に関する知識や技能を身につけること。

活動1 テント設営の仕方の学習



安全なテント設営の仕方について学習しました。テントの四隅を持ちながら、みんなで「いっせーの」と声をかけ、バランスに気を付けてテントを張ることができました。片づけのテントの丸め方を「のりまきのようなですね。」と表現していたのを聞いて、「子ども達にもそう教えたらいいな。」と思いました。

活動2 竹で箸やコップ作り



竹でコップや箸を作りながら、のこぎりや小刀の安全な使用方法を学習しました。コップを作っている時に、「竹の底ってとてもきれいですね。」と教えてくれました。自然体験は五感が磨かれるということを改めて感じました。竹の香りが加わったジュースもとてもおいしかったそうです。

活動3 野外調理



「鉄板焼きそば」「焼き鳥」「黒糖ロール」を作り、火の起こし方や安全な調理の仕方を学習しました。焼き鳥の手作りのタレと、焼きそばのソースがちょうどよく焦げ、とてもいい香りがしました。「マシュマロを焼いたら子ども達が喜ぶかも！」と、子どもへの指導のことも考えながら取り組んでいました。

活動4 フィールドビンゴ



フィールドビンゴを体験しながら、子どもがけがをしそうな場所では写真を撮ってもらいました。子どものけがを防止するには、事前に下見をすることや、一緒に歩くときに周りをしっかりと見ることが大切であると感じていました。

全体を通して

熱心で子どもが大好きな大学生達が参加してくださいました。普段はあまりしないという自然体験活動を楽しみ、その中で子どもへの安全指導についても考えることができていました。活動中、受講生同士でコミュニケーションをとり、お互いの頑張りを褒め合う姿も見られました。帰り際、全員がジュニアキャンプやパワーアップキャンプにボランティアとして参加したいと話してくれ、とても嬉しかったです。みなさんの活躍を今から期待しています。本当にありがとうございました。